

警鐘レポート2 注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡

事例12

< 事例概要 >

- ・ 70歳代、肺炎疑いの患者。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。
- ・ 原因薬剤は、 β -ラクタム系抗菌薬（セフトリアキソン）。病室で発症。
- ・ 過去に薬剤を使用し、アレルギー症状の出現無。
- ・ 抗菌薬の点滴を開始した1分後、気分不快と嘔気が出現し、薬剤投与を中止。初発症状を認めた直後、顔面紅潮、血圧低下を認め、緊急コール。チアノーゼ、喘鳴を認め、JCSⅢ-300、脈拍触知不能となり心肺蘇生を開始。10分後、アドレナリン1 mgを筋肉内注射。13分後、2回目のアドレナリン1 mgを筋肉内注射。救急処置を実施するが、約3時間後に死亡。